

さいわい GIGA だより

川崎市立幸町小学校 2026.6.8発行 第一号

～令和8年度 幸町小学校 GIGA スクール構想推進計画～

本計画は、今年度を通じて学校全体で取り組む共通の目標であり年間を通じて、本ホームページに掲載いたします。学校と家庭が一体となり、子どもたちの学びを支えていければと思っております。幸町小学校では、川崎市の「かわさき GIGA スクール構想」に基づき、1人1台の GIGA 端末（タブレット・PC）を効果的に活用した教育活動を推進しています。本年度の推進計画の要点を、保護者の皆様に分かりやすくお届けします。

1. 学校教育目標と GIGA 端末で目指す姿

本校では、「心豊かで自ら学び 主体的に判断し 行動できる子どもの育成」を学校教育目標に掲げています。GIGA 端末の活用を通じて、以下の姿の実現を目指します。

- **自ら考え行動できる子**：課題に対して自ら調べ、判断し、表現する力を養います。
- **友達と学びを深められる子**：言語活動や端末を介した共有を通じ、お互いを意識して協働的に学び合います。

2. 学年ごとの活用実態とステップアップ目標

発達段階に応じた活用を進めています。それぞれの学年における現在の実態と、今年度目指す目標のステップです。

学年区分	現在の子どもの実態	今年度目指す目標（情報活用能力）
低学年 1・2年	<ul style="list-style-type: none">・1年生を中心にログインやカメラ機能、QRコード読み取りなどを活用。・音声入力や手書き入力を使いこなし、多くの児童がタイピングも可能。・「ミライシード」（ドリルパーク・オクリンクプラス）での宿題提出。・Google 画像検索の利用（使っていない画像があることを理解）。	<p>【知識・技能】 2年生後期には鉛筆で書くほどのスピード（1分間40字以上）でタイピングできる。カメラやオクリンクを使いこなす。</p> <p>【思考・表現】 人の話を聞いて端末に入力したり、似ている・違うものの仲間分けができる。</p> <p>【学びに向かう力】 端末を約束を守って大切に使い、自分の発表を振り返る。</p>
中学年 3・4年	<ul style="list-style-type: none">・授業の適した場面で端末を取り入れようとするが、何でも使おうとして目的がそれることがある。・振り返りの文章が短すぎたり、長すぎて読むのに時間がかかるなど、内容の精査に課題。・自制が効かず、関係のないこと（ゲームや係活動）をしてしまう児童がいる。	<p>【知識・技能】 ローマ字入力で文章が打てる（鉛筆より速く／1分間60字程度）。ネットに書き込んだ情報は残る・広がる危険性を知る。</p> <p>【思考・表現】 集めた情報から必要なものを選び、写真や図を組み合わせてスライドで発表できる。</p> <p>【学びに向かう力】 調べ学習や発表で主体的に活用し、活動を振り返って他の学習に生かす。</p>
高学年 5・6年	<ul style="list-style-type: none">・各教科（社会、図工、国語、総合など）で、スライドを用いた学習のまとめや自分の考えの整理ができる。・スプレッドシートを活用し、個人の学習進捗状況を「見える化」している。・国語などで、文章と資料を組み合わせた効果的な活用ができる。	<p>【知識・技能】 ローマ字で正しく高速入力できる（1分間80字以上）。データの保存先や、著作権・個人情報について正しく理解し注意して活用できる。</p> <p>【思考・表現】 図書・統計など複数の資料から情報を集め、比較・整理・分析してまとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力】 課題に応じた情報探索・比較を行い、SNSやメール等での適切な発信（誰が見るか、適切か）をよく考える。</p>

3. 安全で正しい活用のために（情報モラル教育）

端末を便利に使いこなすだけでなく、安全に使うためのルールや道徳の指導も徹底していきます。

- **著作権や個人情報の理解**：高学年を中心に、他者の権利を守り、自分の個人情報を保護する意識を高めます。
- **適切なコミュニケーション**：SNSやメッセージ送信の際、「誰が見るか」「内容は適切か」を立ち止まって考える自制心を育てます。
- **家庭での見守りのお願い**：学校でのルール（ゲームや関係ない活動の自制）を、ぜひご家庭でも話題にいただければ幸いです。

4. 学校のデジタル化

学校全体としてもデジタル化を推進し、より質の高い指導体制を整えてまいります。

- **テストパークの推進**：今後の CBT（コンピュータを用いたテスト）へのスムーズな移行に備えます。
- **校内チャットの活用**：教職員間での日々の指導法や学び合いの共有を円滑にします。
- **Logo フォームの活用**：紙の配布や集計の手間を省き、ペーパーレス化と迅速な情報共有を進めます。

【タッチペンについて】

テストパーク（CBT）や日々の学習の中で、画面へ直接書き込むなどタッチペンを活用する場面が増えてまいりました。つきましては、確実な学習推進のため、本校の持ち物にタッチペンを加えることになりました。ご家庭に強制するものではございませんので、**学習に必要と判断された場合に持参が可能**というものになります。

- **数量**：お一人につき **1本**まで。
- **仕様**：本校で導入している **Chromebook に対応したもの**をお選びください。
- **選定時の注意点**：充電が必要なものや、ペアリング機能（Bluetooth 等）があるものは、校内での接続トラブル防止や管理の観点から**持ち込めません**。電気を使用しない、シンプルな形状のものをお選びください。また、破損・紛失に関しては責任を負いかねますので、高価なものや華美な装飾があるものはご遠慮ください。